

島しょ部における都の防災対策の取組状況について

- ◎ 都は、これまでも、津波や高潮などに備えた防災対策を進めるとともに、東日本大震災を踏まえた防災力の強化に取り組んできた。
- ◎ 引き続き、これまでの対策を推進するとともに、適切な避難に向けた取組を推進し、さらなる減災を進めていく。

○ 津波対策

◆ 津波による人的被害を軽減するためには、迅速な避難につながる事前の備えが重要

- <取組状況>
- ・ 津波ハザードマップ基本図を島しょ町村に提供するなど、津波からの避難対策を支援
 - ・ 島しょ部において、津波からの避難を想定した総合防災訓練を実施（平成24年度 神津島）
- <主な対策>
- ・ 頻度の高い津波に対する、島しょの海岸保全施設等の整備を促進
 - ・ 高台等への避難が困難な地区に、津波タワー等の避難施設を整備
 - ・ 今回の被害想定を踏まえた津波ハザードマップ基本図の見直しにより、島しょ町村の避難計画策定等を支援
 - ・ 津波を想定した訓練を島しょ町村と合同で行うなど、迅速な避難に向けた取組を推進
 - ・ **10月19日（土曜日）、新島において避難訓練等を実施予定**

○ 道路整備

◆ 代替ルートの整備など、道路の防災性の向上

- <取組状況>
- ・ 道路ネットワークの寸断や重大な事故を防止するため橋梁やトンネル、道路斜面等について各種点検により状況を的確に把握し、必要な補修補強工事を実施
 - ・ 現道拡幅や代替ルートを整備
- <主な対策>
- ・ 引き続き、計画的かつ効率的な道路の防災性向上対策を推進

○ 急傾斜地対策

◆ 急傾斜地における対策の着実な実施

- <取組状況>
- ・ 危険度の高い急傾斜地を、
現在、島しょ部で13箇所指定し、
うち12箇所対策工事を概成
- <主な対策>
- ・ 引き続き、必要な箇所を指定し、
崩壊防止工事等を実施